

2019年5月24日

“池谷裕二氏”による文化講演会を開催

姫路市文化センターにて、東京大学薬学部教授 薬学博士の池谷裕二氏を講師にお招きし、当社文化振興財団主催の文化講演会を開催しました。

講演は「人間の脳と AI ～人工知能がもたらす未来の世界～」と題し、人工知能の定義が時代とともに変化し、特に近頃はそのスピードが速くなってきている事を、私たちの身近な自動販売機、将棋ゲームなどに例えてご説明いただきました。その上で、AIを「人間の知能のある一側面をコンピューターで再現したもの」と定義づけ、それは視覚情報の判別にはじまり、今では創造性を必要とする詩や音楽などの創作等、芸術的分野にまでその領域が広まってきていると解りやすくご説明していただきました。



講演中のアイスブレイクでは、人間の脳のご都合主義的な便利さについて、サークル内のグレーの点を、ご自身と奥様との関係性になぞらえてご説明いただき、楽しく拝聴することができました。時折交える著書の内容についての宣伝のご紹介も、大変愉快に拝聴いたしました。

また、将棋やチェスなどでの人工知能の精度についても、あくまでも蓄積されたビッグデータの正確性が重要であることを強調され、AIの現段階での限界のようなものも垣間見られ、人間の脳もまだまだ捨てたものではないことが分かりました。

ユーモアを交えた池谷氏のお話しに、当日は客席から何度も拍手が起きました。



「人工知能と人間が競い合うのではなく、人間の脳の苦手分野の補助的な役割を、人工知能に負わせる事が大切」と訴えられた池谷裕二氏。